

社会科 学習指導案

1. 日時 平成28年12月2日（金） 第5時限 13:10～14:00
2. 場所 第2学年3組 教室
3. 学年・組 第2学年3組（40名）
4. 単元名 第4編 近世の日本 2「江戸幕府の成立と東アジア」

5. 単元目標

- ・江戸幕府の政治の特色を考え、その支配のもとに生まれた社会がその後長く続いたことを理解することができる。
- ・ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航など、対外関係が活発な時期から外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解することができる。

6. 教材観

本単元では、江戸幕府の外交政策について学習する。江戸時代初期はアジアやヨーロッパとの貿易が盛んに行われ、物だけでなく、人の移動も盛んであった。しかし、キリスト教の広がりをおそれた幕府は、諸外国との交易を制限し、鎖国政策を実施した。本時では、幕府の外交政策変換の背景を、キリスト教の布教による幕府への影響、外国との交際の独占の2点から理解させたい。

7. 生徒観

略

8. 指導観

江戸幕府の全国支配のしくみについて、一人一人が自主的に発言し、協力し合いながら考えを導き出すよう班活動を取り入れる。本時は、ジグソー法を用い、出島、島原・天草の一揆、朱印船貿易、キリスト教について説明された4枚のカードを使って、グループそれぞれに江戸幕府が支配を確立するためにキリスト教の勢力をおそれ、禁止させていったことを読み取らせる。またグループで意見をまとめ論理的な説明ができるようにさせたい。

9. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
近世社会の基礎や幕府と藩による支配の確立など、近世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、近世の特色をとらえようとする。	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、鎖国下の対外関係や江戸幕府の政治の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、鎖国下の対外関係などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	幕府による藩の支配が確立したことを理解し、その知識を身に付けている。

10. 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時	学習内容	主な評価規準・【4観点】
第1時	全国支配のしくみ	【関心・意欲・態度】 江戸幕府前半の年表をまとめ、幕府領、大名の配置・参勤交代・鎖国などの幕府の諸政策から、260年間つづいた理由をまとめていく。 【技能】 大名の配置図から、幕府が多くの領地をもつ外様大名を江戸から遠ざけ、幕府が主要な都市などを支配したことを読みとる。
第2時 (本時)	朱印船貿易から鎖国へ	【思考・判断・表現】 幕府が鎖国を行った理由を、「キリスト教の布教の広まりによってもたらされた影響を幕府が危惧した」ものであることをふまえて説明している。 【知識・理解】 幕藩体制を確固なものにするため、キリスト教の禁止と外国との交際の独占が行われたことを理解している。
第3時	隣接地域との関係	【知識・理解】 江戸幕府が朝鮮・琉球王国・蝦夷地との交流を、対馬・薩摩・松前の3藩を窓口にして行っていたことを理解している。
第4時	とらえよう！時代の転換	【思考・判断・表現】 江戸幕府が行った政策によって、武家政権による全国支配が確立したことを、中世社会と対比させながら説明している。

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・江戸幕府における鎖国政策について調べて考察し、鎖国にいたった理由を、キリスト教の広まりへの警戒など幕府の意図と結びつけて説明することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・幕府が鎖国を行った理由を、「キリスト教の布教の広まりによってもたらされた影響を幕府が危惧した」ものであることをふまえて説明している。(思考・判断・表現)

(3) 本時で扱う教材

教科書：中学社会歴史的分野 日本文教出版
資料集：学び考える歴史（大阪府版） 浜島書店

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び理解の不十分な児童(生徒)へのてだて等	評価規準・評価方法
10分 導入	・忘れ物チェック ・めあての確認 「江戸幕府が鎖国を行った理由を話し合ってみよう。」	・授業に取り組むための姿勢を整える。 ・本時のめあてを認識させる。	
25分 展開 ① 10分 展開 ②	鎖国が完成するまでの過程を班になって考える。 ジグソー活動 ・カードを見て、それぞれの資料について考えを深める。 ・各班に持ちかえり、自分のカードの要点を説明する。 ・記録シートにまとめる。 ・各班の記録係が、ホワイトボードに記入し発表する。	・各班にカードを配る。 ・机間指導を行いながら、各班に支援する。 ・1つの資料だけではなく、複数の資料と関連づけてまとめるように指導する。	【思考・判断・表現】 江戸幕府が鎖国を行った理由を、キリスト教の布教などによるものだという事を資料と関連づけて、班で話し合い説明できる。

5 分 ま と め	・鎖国の完成が、江戸幕府の支配を確固たるものにしていったことを確認する。 ・振り返りシート	・各班の発表から、キリスト教の布教が幕府の政策に、合わないことと、経済的に各藩を制限し、幕藩体制をさらに強固にしたことを説明する。	【思考・判断・表現】 鎖国を行った理由をキリスト教と結びつけて説明することができる。
-----------------------	--	---	--

(5) 具体的な評価場面における判断するポイント

評価場面	評価規準	判断するポイント（A B C）
○ふりかえりシート	幕府が鎖国を行った理由を、「キリスト教の布教の広まりによってもたらされた影響を幕府が危惧した」ものであることをふまえて説明している。	■おおむね満足（B）と判断するポイント ・江戸幕府が鎖国を行った理由をキリスト教と結びつけて説明している。 ■十分満足できる（A）と判断するポイント ・江戸幕府が鎖国を行った理由を、キリスト教の布教などによるものだということを複数の資料と関連づけて説明している。 □指導の手立て（C） ・資料の共通点を見つけさせる。

カード1

出島

✿読み取りのポイント✿

- ・ 出島の特徴は？
- ・ ヨーロッパの国々との貿易の
移り変わりをみよう。

出島は貿易をするために長崎県に作られた人工の島で、対岸とは一つの橋でのみ結ばれていました。この島では、オランダのみが貿易を許されていました。しかし、オランダの人たちは許可なく出島の外に出ることはできませんでした。また、出島に出入りできる日本人も、幕府の役人や特定の商人たちだけに限られていました。

江戸初期には、日本はスペイン・ポルトガルとの貿易がさかんでしたが、スペインとの貿易は1624年に、ポルトガルとの貿易は、1639年に禁止されました。その後、この出島が作られ、ヨーロッパではオランダのみが貿易を続けることになりました

幕府はオランダに貿易を認めるかわりに、海外のようすを書いた報告書（オランダ風説書）を幕府に提出するように決められていました。

出島の絵図

出島の施設などを解説した図

※出島には畑や飼育小屋、水を送るパイプなど生活に必要なものはすべて完備されていました。

☆グループのまとめ



✿読み取りのポイント✿

島原・天草一揆のあと、キリスト教禁止の政策が強まったのはなぜだろう。

カード2

島原・天草の一揆

1637年、九州の島原・天草地方（長崎県・熊本県）のキリスト教徒の百姓たちが一揆をおこしました。

ききん（天候不順や冷害などによる食糧不足）で苦しむ中、厳しすぎる年貢やキリスト教信者への弾圧に抗議するために約3万8000人のキリスト教徒の百姓たちが天草四郎時貞をリーダーとして、原城にたてこもりました。幕府はこの一揆に対して、約12万人を使い、ようやく一揆をおさえました。この一揆のあと、キリスト教禁止の政策はさらに強くなりました。

※厳しい年貢の取り立ての例

島原藩主の悪政

有馬の領主（島原藩主）は、収入を増やすためにふつうの税に加えて、他の重税を課していた。支払うことができない百姓は虐殺された。ある百姓の娘が連れていかれ、燃え盛る薪で全身を焼かれた。父親は、借金を支払うまで、娘を人質にとられるだけだと思っていたが、娘が犠牲になったと聞いて、怒り狂い、仲間と相談して代官とその家来をおそった。（「日本切支丹宗門史」より）

島原・天草一揆の広がりを示した地図

島原・天草一揆の様子を表した絵図
（全体概要の図と拡大図）

☆グループのまとめ



❀読み取りのポイント❀

日本が東南アジアと貿易することの
メリット・デメリットは？

カード3

朱印船貿易

豊臣秀吉の時代から始まり、徳川家康も行っていた貿易で朱印状という許可証をもった朱印船が東南アジアの各地で貿易を行いました。西国の大名や京都の豪商などが参加しました。この貿易には、近隣の朝鮮、中国、東南アジアの国々だけでなく、東南アジアに植民地をもっていたポルトガル・スペイン・イギリス・オランダのヨーロッパの国々とも貿易をすることとなり、貿易の目的の1つでもあるヨーロッパの先進文化を手に入れることが出来ました。

そのため、朱印船貿易を続けることは、ポルトガルやスペインと交流することになり、キリスト教（カトリック）がさらに広まることにもなりました。

この朱印船貿易は1635年に幕府が出した「日本人の海外渡航と帰国を全面禁止にする」政策により終了しました。

主な貿易先	占領国	宗教
ルソン島	スペイン領	キリスト教（カトリック）
ティモール島	ポルトガル領	キリスト教（カトリック）
スマトラ島・ジャワ島	オランダ領	キリスト教（プロテスタント）

朱印状の写真

朱印船の絵

朱印船の航路と日本町の分布を示した地図

☆グループのまとめ

カード4

キリスト教

✿読み取りのポイント✿

イエズス会が日本にやってきた目的は？

イエス・キリストが「人は神の前ではすべて平等である。」と説き、始められた宗教。

16世紀、キリスト教（カトリック派）はサン＝ピエトロ大聖堂を増築するために「免罪符」を大量に売ったため、正しい信仰につながらないと反対したプロテスタント派を中心に、宗教改革がおこり、その後、ヨーロッパではプロテスタント派が勢力を持つようになりました。一方、勢力を失ったカトリック派は、ヨーロッパ以外に勢力をつくるため、新たな布教先を求めて世界各地に進出しました。その布教グループの1つにイエズス会がありました。1549年に日本へ来航し、キリスト教（カトリック派）を伝えたことで有名なフランシスコ＝ザビエルもイエズス会の一員です。

☆グループのまとめ

[]

振り返りシート【思考・判断・表現】

()組()番 名前()

江戸幕府が行った鎖国を説明しよう！
